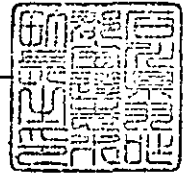


宝 建 第 2 8 5 号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

宝達志水町長 中 野 茂



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（報告）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった標記の件について、別紙の
とおり報告します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

石川県宝達志水町

道路特定財源Iの一般財源化に際しては、当町のような地方において、道路は住民の安全、安心の確保や経済活動・社会活動を支える基礎的な社会基盤である。特に多様な交通手段を有する大都市圏とは異なり、車での移動に頼らざるを得ないため、着実に道路整備を進める必要がある。

しかし、町の財政にも限りがあり、実情は、道路整備があまり進まないのが現状であります。

よって、

- ① 当町のような地方には、道路は全て必要な道路であり。もっと地方に目を向けた道路財源の確保を望む。
- ② 地方道路整備臨時交付金事業制度の拡充(要望しても採択されないケースも想定される。)。

②－１地域の現状と抱える課題

石川県宝達志水町

○現状 当町のような小さい町において、都市圏とは異なり、車は生活する上において、なくてはならない必需品であり、当然生活に密着する生活道路、産業振興のための幹線道路等、道路は全て必要な道路ですが、改良を要する道路も数多く残されているのが現状であります。 また、当町エリアには、能登と加賀を結ぶ国道159号、国道249号、国道471号の外、主要地方道高岡羽咋線、主要地方道押水福岡線、一般県道等と主力となる直轄及び幹線道路も数多くあります。 直轄国道を除いた道路改良が今後いかに進められるかが財政状況も踏まえ、更なる検討を要しているのが現状であります。 更に除雪作業につきましても、協力していただいている建設会社が不況に伴って毎年減少し、町といたしましても冬期間の住民の生活道路を確保するのに頭を痛めているのが現状であります。	○課題 ① 地方への道路財源の確保 直轄国道の整備に関し、新規路線整備におきましては、出来るだけ短期間で整備出来る予算の確保 道路整備及び維持管理に必要な財源確保 ② 直轄国道の維持管理につきましては、国のほうで責任を持って維持管理する。（地方に維持管理を委託されると、現状での体制及び維持管理費を想定すると非常に難しい。）
--	---

②－２ 地域の目指すべき将来像

石川県宝達志水町

道路は人や物を移動させ、経済活動を支えるインフラストラクチャーとしてばかりでなく、水や電気の供給、災害時の安全な避難の確保や物資を供給するライフラインとしてや、住民の多様なニーズに応え、地域の活性化に寄与するものとして、重要な施設である。

こうしたことから、新たな道路網を構築するとともに、住民の生活や安全を確保し、社会情勢や住民の多様な要望に応え、質の高い行政サービスを提供できるよう目指す。

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化 地域活力の向上	① 一般国道159号子浦自歩道事業と主要地方道高岡羽咋線県単交通安全施設工事のタイアップした工事 ② 一般国道159号「羽咋道路」(バイパス)新規路線の認可 一般国道415号「バイパス」の整備工事	一般国道159号と主要地方道高岡羽咋線の交差点には、歩道及び右折車線も無く、過去に幾多の事故も発生していましたが、両事業に自歩道及び右車線の整備が計画されており、完成の暁には、渋滞の解消及び歩行者の安全性が高まると高く評価するものであります。 能登全域における産業・経済・観光等の発展及び活性化に極めて重要な役割を担う道路であり、能登で暮らす全住民が早期完成に向けた力強い整備推進を期待する。 国道249号から国道159号までの第1期工事区間は平成21年10月の完成を目指し県当局も全力で工事を進めており、この沿線には、本町の誘致企業もあり完成の暁には産業道路及び生活道路として地域の活性化につながることは勿論のこと、能登有料道路と直結した産業道路としての機能も大いに発揮されるものと期待している。しかし今後第2期工事として、国道159号から富山県方面に延伸し能越自動車道へアクセスさせてこそ、富山県及び中部圏への貴重な産業道路としても期待が大きい。	